

「長良川9.12豪雨災害リレーパネル展」

In ツインアーチ138 (2026/06/23～07/05)



長良川9.12豪雨災害

木曽川上流河川事務所

昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「長良川9.12豪雨災害」から、今年で50年が経ちました。

自然災害が多発する今、長良川9.12豪雨災害の被害や復旧活動の写真を中心に展示することにより、その時の経験と教訓を次世代へ語り継ぎ、防災意識を高めて地域防災力の向上につなげていくため「リレーパネル展」を開催しています。



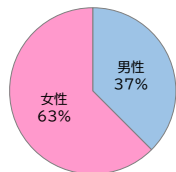
パネル展示



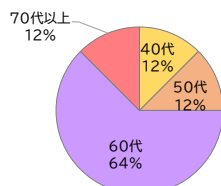
(一社) 中部地域づくり協会パネルサポーターによる説明

【パネル展に関するアンケートの結果】 (回答人数: 8 人)

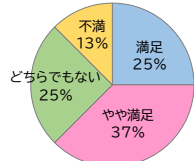
性別



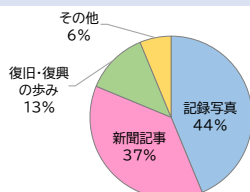
年代



満足度



印象に残ったパネル ※複数回答



<アンケート結果のまとめ>

約6割(62%)の方が「満足」または「やや満足」と回答し、多くの来場者から好評をいただきました。また、「記録写真」が最も印象に残った展示として挙げられ、「新聞記事」とともに当時の災害の状況を伝える資料への関心の高さがうかがわれました。来場者は60代の方を中心に、豪雨災害の記憶や教訓を振り返る有意義な展示会となりました。

<パネル展への主な感想>

- 普段の生活でいつ起こるかわからない災害について、準備する事は大切だと思った。
- 当日の新聞記事やご説明いただいた内容がとても分かりやすく、とても勉強になった。
- 改めて水害の恐ろしさを感じるとともに、当時のことを思い出した。
- 災害を知らない世代の人に伝えられるいい機会だと思った。